

《販わい分野》

文化スポーツ振興部

## 歳出目別財務諸表

部局名	文化スポーツ振興部	主管課名	文化振興課	歳出目名	文化振興費
				事業類型	a 施設所管型

組織のミッション	文化振興課のミッションは、文化芸術活動の環境を整備し、鑑賞機会の創出、活動支援、情報発信を通じて、魅力にあふれ、賑わいのあるまちをつくることです。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術振興施策の基本方針に関すること。</li> <li>・文化芸術振興のための事業に関すること。</li> <li>・指定文化財を除く伝統芸能の継承と発展に関すること。</li> <li>・芸術家支援に関すること。</li> <li>・町田市立博物館に関すること。</li> <li>・町田市民ホールに関すること。</li> <li>・和光大学ポプリホール鶴川に関すること。</li> <li>・町田市フォトサロンに関すること。</li> <li>・成人式(二十祭まちだ)に関すること。</li> <li>・国際交流に関すること(町田国際交流センター)。</li> <li>・町田市文化・国際交流財団との連絡調整に関すること。</li> <li>・文化施設の整備に関すること。</li> </ul>				

### I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
所管施設利用者数	人	-	537,220	790,000	805,000	所管4施設(博物館、市民ホール、ポプリホール、フォトサロン)利用者数
定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆和光大学ポプリホール鶴川を整備しました。</li> <li>◆二十祭まちだ、鶴川緑の交流館開館記念事業、文化遺産活用事業において、実行委員会を組織し、事業を実施しました。</li> <li>◆文化遺産活用事業では、文化庁の補助事業を申請し、市内で伝統芸能に関する体験教室を開催しました。</li> </ul>					

### II. 財務情報

#### ◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		25,181	25,181
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		1,434	1,434
繰入金		0	0
その他		12,444	12,444
行政収入 小計(a)		39,059	39,059
人件費		144,104	144,104
うち時間外勤務手当		12,796	12,796
物件費		432,678	432,678
うち委託料		327,490	327,490
維持補修費		34,403	34,403
扶助費		0	0
補助費等		27,508	27,508
繰出金		0	0
減価償却費		30,161	30,161
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		5,664	5,664
退職手当引当金繰入額		13,944	13,944
その他		0	0
行政費用 小計(b)		688,462	688,462
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 649,403	△ 649,403
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		4,567	4,567
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		△ 4,567	△ 4,567
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 653,970	△ 653,970
特別収入		0	0
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別支出		0	0
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 653,970	△ 653,970

#### ◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	博物館事業における緊急雇用創出事業費臨時特例補助 25,181千円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	市民ホール他2文化施設の指定管理委託料の合計 232,397千円など。

勘定科目	
決算額の主な内訳	

#### ◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	鶴川緑の交流館建設に伴う増加 2,791,115千円

勘定科目	建設仮勘定
増減理由	鶴川緑の交流館竣工に伴う減少 1,187,625千円

勘定科目	重要物品
増減理由	鶴川緑の交流館建設に伴う、重要物品購入 25,004千円

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	5,080	5,664	584	
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0	
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	5,080	5,664	584	
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0	
	その他	0	0	0	固定負債	816,453	1,881,484	1,065,031	
事業用資産	有形固定資産	1,090,108	3,881,223	2,791,115	地方債	679,000	1,744,000	1,065,000	
	土地	644,088	644,088	0	退職手当引当金	137,453	137,484	31	
	建物	446,020	3,237,135	2,791,115	その他	0	0	0	
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	821,533	1,887,148	1,065,615	
	有形固定資産	0	0	0	純資産	2,067,252	2,629,205	561,953	
	土地	0	0	0					
	工作物	0	0	0					
	無形固定資産	0	0	0					
固定資産	重要物品	558,052	582,130	24,078	純資産の部合計	2,067,252	2,629,205	561,953	
	図書	0	0	0	負債及び純資産の部合計	2,888,785	4,516,353	1,627,568	
	建設仮勘定	1,187,625	0	△ 1,187,625					
	投資その他の資産	53,000	53,000	0					
	有価証券及出資金	3,000	3,000	0					
	特定目的基金	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	資産の部合計	2,888,785	4,516,353	1,627,568					

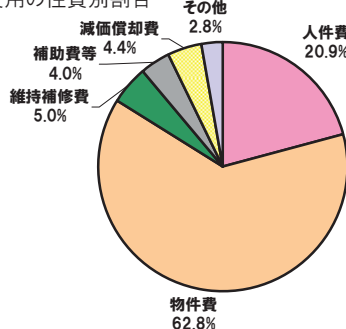
◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

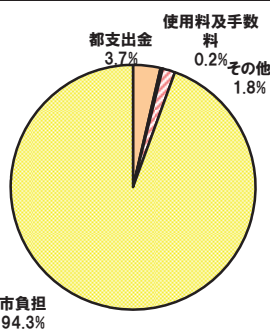
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	39,060	社会資本整備等投資活動収入	444,737	財務活動収入	1,065,000
行政サービス活動支出	662,252	社会資本整備等投資活動支出	1,657,729	財務活動支出	0
行政サービス活動収支差額(a)	△ 623,192	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	△ 1,212,992	財務活動収支差額(c)	1,065,000
			収支差額 合計 (a)+(b)+(c)		
			一般財源充当調整額		
			771,184		

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



▽事業の財源内訳



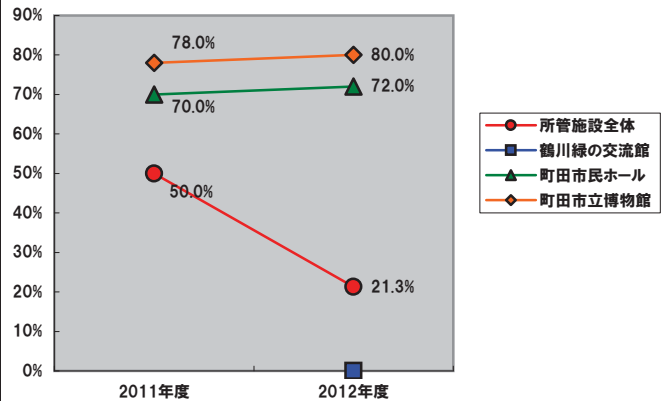
▽事業に関わる人員

(単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
歳出目 合計	14	0	1	0	0.9	1.9
文化振興課管理事務	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
施設管理事務	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
文化振興事業事務	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
博物館事務	4.3	0.0	1.0	0.0	0.9	1.9
その他事務	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

IV.個別分析

▽資産老朽化比率の推移



V.総括

①財務分析

2012年度は町田市鶴川緑の交流館が完成し、課の所管施設となったため、資産、負債とも増大しています。博物館以外の所管施設は指定管理制度を導入しているため、物件費が中心の歳出目となっています。博物館の入館料を有料にしましたが、他の施設は利用料金制としており、利用料金は市の行政収入とならないため、利用料金が生じる施設を有しているにも関わらず、事業の使用料及び手数料が0.2%と低い水準となっています。資産老朽化比率は、博物館が80%、市民ホールが72%といずれも高い水準となっています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

資産老朽化比率が高い施設について、建替えを含めた検討と施設の維持管理が重要な課題となっています。

**特定事業別財務諸表**

部局名 文化スポーツ振興部

主管課名	文化振興課	歳出目名	文化振興費	事業名	博物館事業
				事業類型	1 施設運営受益者負担型

事業目的	質の高い魅力ある資料を収集・保存し、綿密な調査・研究に基づく企画展を開催し、関連事業を実施することにより、文化芸術鑑賞に関心のある方をはじめ、より多くの方が文化・芸術に親しみ、知的好奇心を満足させ、教養を高めることができるようになります。
------	---

**I. 事業の成果**

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
入館者数	人	21,103	9,171	12,000	17,000	博物館をご利用された方の人数(博物館展覧会観覧者、講演会等イベント参加者、ホール利用者)
講演会延参加者数	人	338	372	400	400	展覧会関連事業として実施した講演会の参加者数
展示解説延参加者数	人	377	264	300	300	展覧会関連事業として実施した学芸員による展示ガイドの参加者数
定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆玉川大学芸術学部と連携して、市内小学生を対象としたワークショップを行い、その成果作品を市民ホールで展示しました。</li> <li>◆緊急雇用創出事業を活用して、館蔵民俗資料の目録を作成しました。</li> <li>◆本町田遺跡展、蓮-Lotus Land-展など5つの展覧会を企画、実施しました。</li> <li>◆収蔵品を使って淡彩画教室を開催しました。</li> </ul>					

**II. 財務情報**

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		25,181	25,181
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		1,434	1,434
繰入金		0	0
その他		689	689
行政収入 小計(a)		27,304	27,304
行政費用			
人件費		51,015	51,015
物件費		78,621	78,621
うち委託料		47,892	47,892
維持補修費		943	943
扶助費		0	0
補助費等		645	645
繰出金		0	0
減価償却費		3,050	3,050
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		1,735	1,735
退職手当引当金繰入額		0	0
その他		0	0
行政費用 小計(b)		136,009	136,009
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 108,705	△ 108,705
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 108,705	△ 108,705
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		15,769	15,769
特別収入 小計 (h)		15,769	15,769
特別費用			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別費用 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		15,769	15,769
当期収支差額 (g)+(j)		△ 92,936	△ 92,936

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	緊急雇用創出事業費臨時特例補助 25,181千円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	所蔵民俗資料目録作成業務委託 25,181千円 総合管理及び本町田遺跡公園警備委託 13,502千円 敷地賃借料他使用料及び賃借料 16,436千円

勘定科目	
決算額の主な内訳	

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	減価償却による減少 2,780千円

勘定科目	退職手当引当金
増減理由	従事人員の変動による。

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

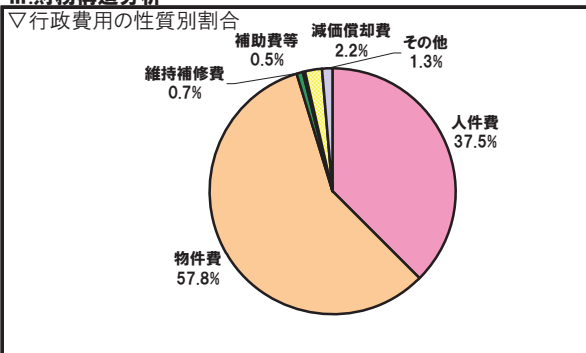
指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
入館者数	人	2012	9171	14,830	入館者1人あたり、14,830円のコストがかかっています。
展覧会開催日数	日	2012	183	743,219	開館1日あたり、743,219円のコストがかかっています。
		2012			

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	2,380	1,735	△ 645
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	2,380	1,735	△ 645
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	64,405	42,112	△ 22,293
事業用資産	有形固定資産	30,580	27,800	△ 2,780	地方債	0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金	64,405	42,112	△ 22,293
	建物	30,580	27,800	△ 2,780	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	66,785	43,847	△ 22,938
	有形固定資産	0	0	0	純資産	570,800	590,688	19,888
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	557,005	556,735	△ 270	純資産の部合計	570,800	590,688	19,888
	図書	0	0	0	負債及び純資産の部合計	637,585	634,535	△ 3,050
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	50,000	50,000	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	資産の部合計	637,585	634,535	△ 3,050				

III.財務構造分析



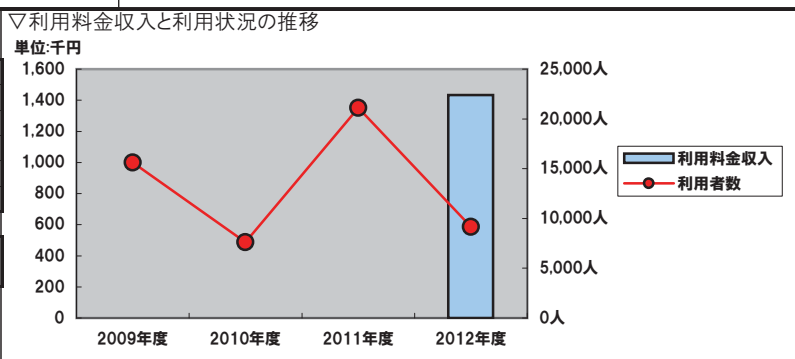
▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	4.3	0.0	1.0	0.0	0.9	1.9
内訳						
博物館管理事務	2.4	0	0	0	0	0
博物館展示事業	1.4	0	0.8	0	0.7	1.8
博物館普及事業	0.5	0	0.2	0	0.2	0.1

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	市立博物館
建設年月日	1973年3月31日
取得価額	139,000,000円
減価償却累計額	111,200,000円
利用者数	9,171人
利用料金収入	1,434,250円
受益者負担の割合	1.1%



V.総括

①財務分析

・博物館事業は、施設の維持管理費や展覧会事業に伴う臨時職員賃金、運搬費、委託料など、物件費が約58%を占めています。  
 ・人件費が約38%を占め、物件費と合わせると約95%の割合、入館者1人あたりのコストは14,830円となっています。  
 ・財源は、所蔵民俗資料目録作成に係る緊急雇用創出事業費臨時特例補助(都支出金)、博物館入館料、物品売払収入以外、行政費用の約80%を市負担で賅っています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

・本年度は、自治会連合会へのPRの協力依頼や、有償の広告を実施しましたが、入館者数は減少しました。来館者を増やすためには、更に魅力ある展覧会の企画や効果的なPR等を検討することが重要な課題です。  
 ・現有施設は建築から40年が経過し、狭隘化と老朽化が進んでいます。そのため、廃校跡地を利用し収蔵品の一部(民具)を移したり、展示に際しては、温湿度などを考慮しながら企画をするなどの工夫をしました。しかし、収蔵場所が分散することで活用の際にそれまでになかった搬送作業がでたり、展示内容に制限がでたりしました。今後も継続して魅力ある展覧会事業を開催するためには、こうした点の解消と施設や設備の維持管理に細心の注意を払い、適切に行っていくことが課題となります。

**特定事業別財務諸表**

部局名	文化スポーツ振興部
-----	-----------

主管課名	文化振興課	歳出目名	文化振興費	事業名	フォトサロン事業
				事業類型	1 施設運営受益者負担型

事業目的	フォトサロン管理事務の目的は、市民の写真その他の文化芸術に関する活動の場を提供し、文化芸術の振興に寄与するため、展示会の開催や貸出施設等の利用に関する業務を行います。
------	---

**I. 事業の成果**

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
来館者数	人	35,993	37,978	37,978	37,978	町田市フォトサロンの来館者数
事業数	本	30	27	30	30	町田市フォトサロンが実施する事業数
定性的な成果	フォトサロン内での写真展の他に、市民を募集して撮影会の開催やカメラの講座などの事業を行っています。成人式での撮影協力を行っており、好評を得ています。					

**II. 財務情報**

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		0	0
行政収入 小計(a)		0	0
行政費用			
人件費		2,561	2,561
物件費		9,443	9,443
うち委託料		9,443	9,443
維持補修費		382	382
扶助費		0	0
補助費等		0	0
繰出金		0	0
減価償却費		0	0
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		108	108
退職手当引当金繰入額		0	0
その他		0	0
行政費用 小計(b)		12,494	12,494
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 12,494	△ 12,494
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 12,494	△ 12,494
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		897	897
特別収入 小計 (h)		897	897
特別費用			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別費用 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		897	897
当期収支差額 (g)+(j)		△ 11,597	△ 11,597

◆行政コスト計算書の特長的事項

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	フォトサロン指定管理業務に関する人件費 2,561千円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	フォトサロン指定管理料 9,443千円

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	フォトサロン施設修繕費 382千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	退職手当引当金
増減理由	従事人員の変動による。

勘定科目	賞与引当金
増減理由	従事人員の変動による。

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
施設利用者	人	2012	37,978	329	来館者1人あたり、329円のコストがかかっています。
開館日数	日	2012	277	45,105	開館日数1日あたり、45,105円のコストがかかっています。
		2012			

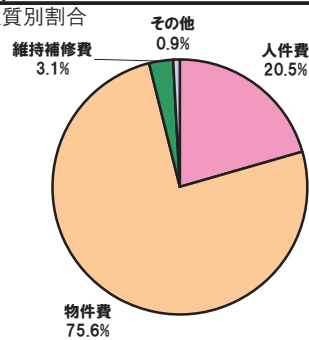
◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	145	108	△ 37
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	145	108	△ 37
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	3,925	2,625	△ 1,300
事業用資産	有形固定資産	0	0	0	地方債	0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金	3,925	2,625	△ 1,300
	建物	0	0	0	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	4,070	2,733	△ 1,337
	有形固定資産	0	0	0	純資産	△ 4,070	△ 2,733	1,337
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	0	0	0	純資産の部合計	△ 4,070	△ 2,733	1,337
	図書	0	0	0	負債及び純資産の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	資産の部合計	0	0	0				

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



▽事業に関わる人員

(単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
進捗管理事務	0.1	0	0	0	0	0
施設維持事務	0.2	0	0	0	0	0

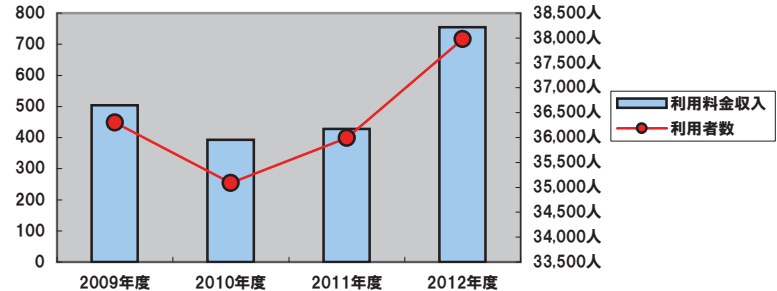
IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	町田市フォトサロン
建設年月日	1975年4月1日
取得価額	67,026,950円
減価償却累計額	46,918,865円
利用者数	37,978人
利用料金収入	755,000円
受益者負担の割合	5.7%

▽利用料金収入と利用状況の推移

単位:千円



V.総括

①財務分析

建物そのものは他部署の所管のため、資産の部に反映されていませんが、建築から40年が経過しているため、今後維持補修費が増加することが見込まれます。

指定管理者制度を導入していることから、委託料が行政費用の7割以上を占めています。また、人件費が約2割を占めており、これら2項目が大半を占めています。

利用料金制度を導入しているため、使用料及手数料を見込むことができません。

②財務分析を踏まえた事業の課題

指定管理料を減少させるために、事業実施による収入確保が課題です。

**特定事業別財務諸表**

部局名	文化スポーツ振興部
主管課名	文化振興課
歳出目名	文化振興費
事業名	市民ホール事業
事業類型	1 施設運営受益者負担型

事業目的	市民ホール管理事務の目的は、市民の文化の向上と福祉の増進に寄与するため、文化の提供事業や文化活動の支援及び市民参加型事業を実施するとともに、市民ホールの貸出施設の利用に関する業務を行います。
------	---

**I. 事業の成果**

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
施設利用者数	人	256,440	249,513	260,000	260,000	市民ホールが主催、共催する事業の利用者数および貸出施設の利用者数
施設利用率	%	68.8	68.3	69.7	69.7	貸出施設の利用率
定性的な成果	「バレエコンクール」「ピアノコンクール」「クラシックバレエ育成プログラム」の開催により、若者アーティストの育成、支援を推進しました。「ホールでピアノを弾いてみませんか？」というスタインウェイを舞台で弾いてもらう試みに、多数の応募があり、好評を得ました。					

**II. 財務情報**

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		0	0
行政収入 小計(a)		0	0
行政費用			
人件費		6,771	6,771
物件費		148,842	148,842
うち委託料		146,054	146,054
維持補修費		4,256	4,256
扶助費		0	0
補助費等		0	0
繰出金		0	0
減価償却費		24,600	24,600
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		286	286
退職手当引当金繰入額		2,950	2,950
その他		0	0
行政費用 小計(b)		187,705	187,705
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 187,705	△ 187,705
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 187,705	△ 187,705
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別費用			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別費用 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 187,705	△ 187,705

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	市民ホール指定管理業務に関する人件費 6,771千円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	市民ホール指定管理料 146,054千円

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	市民ホール施設修繕費 4,256千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	減価償却に伴う減少 23,944千円

勘定科目	退職手当引当金
増減理由	従事人員の変動による。

勘定科目	重要物品
増減理由	減価償却に伴う減少 657千円

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
施設利用者数	人	2012	249,513	752	来館者1人あたり、752円のコストがかかっています。
開館日数	日	2012	333	563,679	開館日数1日あたり、563,679円のコストがかかっています。
		2012			



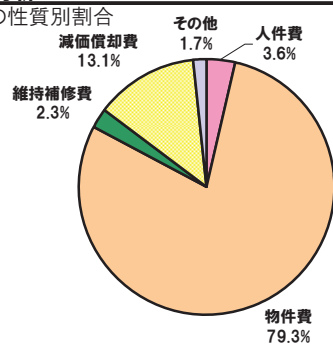
◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	164	286	122
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	164	286	122
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	4,435	6,940	2,505
事業用資産	有形固定資産	359,155	335,211	△ 23,944	地方債	0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金	4,435	6,940	2,505
	建物	359,155	335,211	△ 23,944	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	4,599	7,226	2,627
	有形固定資産	0	0	0	純資産	355,603	328,375	△ 27,228
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	1,047	390	△ 657				
	図書	0	0	0				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	355,603	328,375	△ 27,228
	資産の部合計	360,202	335,601	△ 24,601	負債及び純資産の部合計	360,202	335,601	△ 24,601

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



▽事業に関わる人員

(単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
進捗管理事務	0.3	0	0	0	0	0
施設維持管理事務	0.3	0	0	0	0	0
レストラン運営事務	0.1	0	0	0	0	0

IV.個別分析

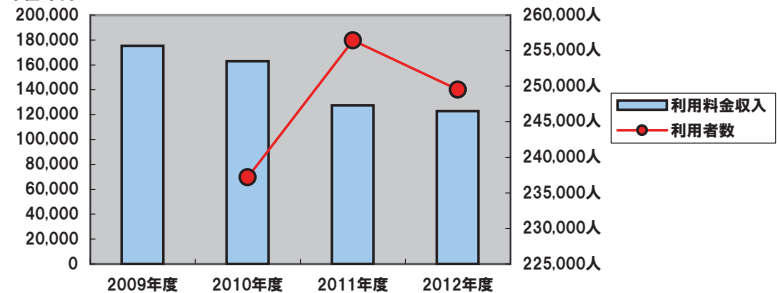
▽施設の概況

施設の名称	町田市民ホール
建設年月日	1977年2月24日
取得価額	1,197,183,600円
減価償却累計額	861,972,192円
利用者数	249,513人
利用料金収入	122,868,235円

受益者負担の割合 38.6%

▽利用料金収入と利用状況の推移

単位:千円



V.総括

①財務分析

指定管理者制度を導入していることから、委託料が行政費用の8割近くを占めています。施設建設後、40年が経過しており、建物の老朽化が進んでいます。

②財務分析を踏まえた事業の課題

もともと市民ホールは、1973(昭和48)年にボーリング場としてオープンしましたが、ホール用に改修工事を行い1978(昭和53)年に町田市民ホールとしてオープンしました。ボーリング場だったときも含めると、建築から40年が経過しているため、今後維持補修費が増加が見込まれます。市派遣職員の解消とともに、企画・運営に携わる専門の人材等の確保と育成をはかっていることと、嘱託職員の正職員化により人的安定性は見込めるようになりました。

**特定事業別財務諸表**

部局名	文化スポーツ振興部
-----	-----------

主管課名	文化振興課	歳出目名	文化振興費	事業名	鶴川緑の交流館事業
				事業類型	1 施設運営受益者負担型

事業目的	鶴川緑の交流館事業の目的は、市民の芸術文化の創造活動及び地域的な共同活動その他の市民活動の推進を図り、もって魅力ある地域社会づくりに寄与することであり、ホール等の施設及び附属設備の貸し出しや市民の芸術文化の向上に資する事業を行います。
------	---

**I. 事業の成果**

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
施設利用者数	人	-	31,739	67,000	67,000	施設(ホール、会議室等)の利用者数
施設利用率	%	-	58.8	60	65	施設(ホール、会議室等)の利用率
定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民と協働して開館記念事業を実施しました。</li> <li>◆開館から半年間、オープニングイヤーイベントを実施しました。</li> </ul>					

**II. 財務情報**

**◆行政コスト計算書**

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		11,750	11,750
行政収入 小計(a)		11,750	11,750
行政費用			
人件費		30,092	30,092
物件費		179,003	179,003
うち委託料		108,980	108,980
維持補修費		28,714	28,714
扶助費		0	0
補助費等		2,284	2,284
繰出金		0	0
減価償却費		0	0
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		1,271	1,271
退職手当引当金繰入額		9,199	9,199
その他		0	0
行政費用 小計(b)		250,563	250,563
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 238,813	△ 238,813
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		4,451	4,451
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		△ 4,451	△ 4,451
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 243,264	△ 243,264
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別費用			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別費用 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 243,264	△ 243,264

**◆行政コスト計算書の特徴的事項**

勘定科目	行政収入その他(諸収入)
決算額の主な内訳	「和光大学ポプリホール鶴川」命名権料 2,250千円 コミュニティ助成金 9,500千円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	指定管理料 76,900千円 開館準備業務委託料 22,819千円 備品購入費 25,005千円

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	開館準備や開館記念事業に伴う人件費 30,092千円

**◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)**

勘定科目	建物
増減理由	鶴川緑の交流館完成による増加 2,820,350千円

勘定科目	建設仮勘定
増減理由	鶴川緑の交流館完成による減少 1,187,625千円

勘定科目	地方債
増減理由	鶴川緑の交流館建設による地方債発行額の増加 1,065,000千円

**◆単位あたりコスト分析**

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
施設利用者数	人	2012	31,739	7,894	施設利用者1人あたり、7,894円のコストがかかっています。
開館日数	日	2012	162	1,546.685	開館日数1日あたり、1,546,685円のコストがかかっています。
		2012			

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	890	1,271	381
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	890	1,271	381
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	691,077	1,762,841	1,071,764
事業用資産	有形固定資産	398,424	3,218,774	2,820,350	地方債	667,000	1,732,000	1,065,000
	土地	398,424	398,424	0	退職手当引当金	24,077	30,841	6,764
	建物	0	2,820,350	2,820,350	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	691,967	1,764,112	1,072,145
	有形固定資産	0	0	0	純資産	894,082	1,479,666	585,584
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	0	25,004	25,004				
	図書	0	0	0				
	建設仮勘定	1,187,625	0	△ 1,187,625				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	894,082	1,479,666	585,584
	資産の部合計	1,586,049	3,243,778	1,657,729	負債及び純資産の部合計	1,586,049	3,243,778	1,657,729

III.財務構造分析

<p>▽行政費用の性質別割合</p>	<p>▽事業に関わる人員 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業務内容</th> <th>常勤</th> <th>再任用 (フルタイム)</th> <th>再任用 (短時間)</th> <th>再雇用</th> <th>嘱託</th> <th>臨時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定事業 合計</td> <td>3.1</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>整備事業事務</td> <td>1.1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>管理事務</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時	特定事業 合計	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.04	整備事業事務	1.1	0	0	0	0	0.04	管理事務	2	0	0	0	0	0
業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時																							
特定事業 合計	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.04																							
整備事業事務	1.1	0	0	0	0	0.04																							
管理事務	2	0	0	0	0	0																							

IV.個別分析

<p>▽施設の概況</p> <table border="1"> <tr><td>施設の名称</td><td>町田市鶴川緑の交流館</td></tr> <tr><td>建設年月日</td><td>2012年9月27日</td></tr> <tr><td>取得価額</td><td>2,820,349,500円</td></tr> <tr><td>減価償却累計額</td><td>0円</td></tr> <tr><td>利用者数</td><td>31,739人</td></tr> <tr><td>利用料金収入</td><td>17,932,400円</td></tr> </table>	施設の名称	町田市鶴川緑の交流館	建設年月日	2012年9月27日	取得価額	2,820,349,500円	減価償却累計額	0円	利用者数	31,739人	利用料金収入	17,932,400円	<p>▽利用料金収入と利用状況の推移</p>
施設の名称	町田市鶴川緑の交流館												
建設年月日	2012年9月27日												
取得価額	2,820,349,500円												
減価償却累計額	0円												
利用者数	31,739人												
利用料金収入	17,932,400円												
<table border="1"> <tr><td>受益者負担の割合</td><td>5.9%</td></tr> </table>	受益者負担の割合	5.9%											
受益者負担の割合	5.9%												

V.総括

①財務分析

鶴川緑の交流館事業は、2012年9月27日に施設建設が完了し、事業を開始しました。指定管理者制度を導入していることから、委託料が行政費用の約4割を占めています。建物完成後、追加工事があったため維持補修費が28,714千円かかっています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

施設利用率を高めることで利用料金収入を増加させ、指定管理料を減少させることが課題です。

歳出目別財務諸表

部局名	文化スポーツ振興部	主管課名	スポーツ振興課	歳出目名	スポーツ振興費
				事業類型	a 施設所管型

組織のミッション	スポーツ振興課のミッションは、市民の自主的なスポーツ活動を支えること、市民が気軽にトップスポーツに親しむことができる環境を整えること、また、良好なスポーツ施設を維持管理することにより、多くの市民にスポーツを通して健康で心身ともに充実した生活を提供し、活力あるまちづくりに貢献することです。
事業概要	<p>○体育施設に関すること：総合体育館、室内プール、三輪みどり山球場、成瀬クリーンセンターテニスコートの管理・整備</p> <p>○学校施設等のスポーツ開放に関すること：町田第一中学校、南中学校、鶴川中学校の温水プール一般開放、各学校施設(校庭・体育館・プール)のスポーツ開放</p> <p>○スポーツ振興事業に関すること：子どもマラソン大会等スポーツ大会の支援、ホームタウンチーム(FC町田ゼルビア、ASVベスカドーラ町田、キャンノイーグルス)の支援、「スポーツアワードまちだ」の開催、スポーツに関する広報(「広報まちだ」、市ホームページ)</p> <p>○各種団体等との連携推進に関すること：大学・短大との連携推進、地域スポーツクラブの支援</p>

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
地域スポーツクラブ数	クラブ	3	4	4	8	地域スポーツクラブの数
ホームゲーム平均観戦者数 ①FC町田ゼルビア ②ASVベスカドーラ町田 ③キャンノイーグルス	人	①3,515 ②1,016 ③(不明)	①3,627 ②1,283 ③約2,500人	①4,000 ②1,300 ③2,500	①7,000 ②1,500 ③3,000	ホームタウンチームの平均観客数
①夜間照明設置箇所数 ②学校クラブハウス設置箇所数	箇所	①7 ②0	①7 ②0	①7 ②5	①12 ②20	夜間照明設備、学校クラブハウス設置箇所数
定性的な成果	<p>◆スポーツに関する基本理念を定め、町田市の責務並びに市民等、ホームタウンチーム及びスポーツ関連団体の役割を明らかにする「スポーツ推進条例」を制定しました。</p> <p>◆こどもの日及び体育の日に、総合体育館・成瀬クリーンセンターテニスコートにおいて新規スポーツイベントを開催しました。</p>					

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		10,251	10,251
繰入金		0	0
その他		9,999	9,999
行政収入 小計(a)		20,250	20,250
人件費		92,826	92,826
うち時間外勤務手当		9,339	9,339
物件費		553,811	553,811
うち委託料		517,607	517,607
維持補修費		69,052	69,052
扶助費		0	0
補助費等		47,120	47,120
繰出金		0	0
減価償却費		224,927	224,927
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		3,545	3,545
退職手当引当金繰入額		24,996	24,996
その他		0	0
行政費用 小計(b)		1,016,277	1,016,277
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 996,027	△ 996,027
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		1,429	1,429
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		△ 1,429	△ 1,429
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 997,456	△ 997,456
特別収入		0	0
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別支出		28	28
固定資産売却・除却損		28	28
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		28	28
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		△ 28	△ 28
当期収支差額 (g)+(j)		△ 997,484	△ 997,484

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	中学校温水プール使用料及び木曾中学校夜間照明使用料収入 10,251千円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	体育施設の指定管理委託料が439,474千円、学校温水プール管理業務が55,849千円など

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	体育協会補助金 38,933千円、全国大会等出場者祝金 3,140千円、スポーツ推進委員報酬 2,362千円、子どもマラソン大会事業負担金 2,018千円など。

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	未収金
増減理由	地域学校開放推進事業の工事請負費及び備品購入費を2013年度に繰り越したことに伴い、国庫補助金(学校施設環境改善交付金)の歳入を2013年度に繰り越したものです。

勘定科目	建物
増減理由	資産の増加要因として、総合体育館トイレ他改修工事14,250千円を行いました。減少の要因として、建物、工作物及び重要物品の減価償却及び除却によるものです。

勘定科目	重要物品
増減理由	新体操マット4,935千円の購入による増加

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	13,495	14,671	1,176	
	未収金	0	57,340	57,340	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	10,907	11,126	219	
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	2,588	3,545	957	
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0	
	その他	0	0	0	固定負債	150,926	155,828	4,902	
事業用資産	有形固定資産	7,621,474	7,411,915	△ 209,559	地方債	80,911	69,786	△ 11,125	
	土地	1,913,485	1,913,485	0	退職手当引当金	70,015	86,042	16,027	
	建物	5,670,035	5,464,693	△ 205,342	その他	0	0	0	
	工作物	37,954	33,737	△ 4,217	繰延収益	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0	
固定資産	有形固定資産	0	0	0	負債の部合計	164,421	170,499	6,078	
	土地	0	0	0	純資産	7,460,263	7,305,756	△ 154,507	
	工作物	0	0	0					
	無形固定資産	0	0	0					
	重要物品	3,210	7,000	3,790					
	図書	0	0	0					
	建設仮勘定	0	0	0					
	投資その他の資産	0	0	0					
	有価証券及出資金	0	0	0					
	特定目的基金	0	0	0					
	その他	0	0	0	純資産の部合計	7,460,263	7,305,756	△ 154,507	
	資産の部合計	7,624,684	7,476,255	△ 148,429	負債及び純資産の部合計	7,624,684	7,476,255	△ 148,429	

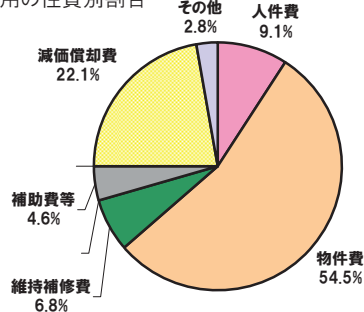
◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	20,250	社会資本整備等投資活動収入	4,640	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	775,794	社会資本整備等投資活動支出	19,186	財務活動支出	10,907
行政サービス活動収支差額(a)	△ 755,544	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	△ 14,546	財務活動収支差額(c)	△ 10,907
				収支差額 合計(a)+(b)+(c)	△ 780,997
				一般財源充当調整額	780,997

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合

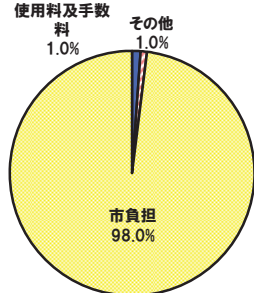


▽事業に関わる人員

(単位:人)

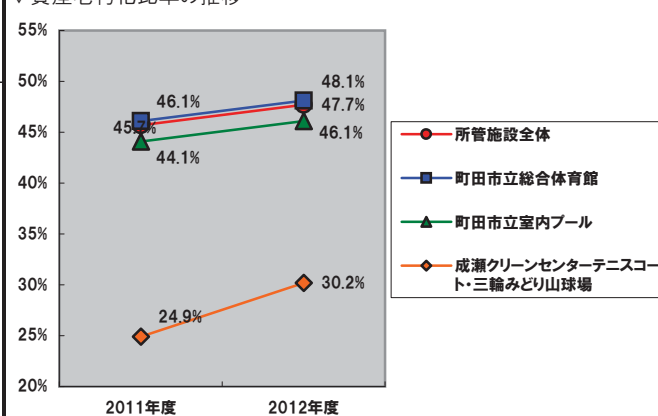
業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
歳出目 合計	10	0	1	0	0	1.3
施設管理事務	4.5	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0
スポーツ振興事務	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3

▽事業の財源内訳



IV.個別分析

▽資産老朽化比率の推移



※資産の老朽化比率には工作物含む

V.総括

①財務分析

行政費用の人員費割合が小さく、物件費割合が大きくなっています。これは、総合体育館と室内プールに指定管理者制度を導入し、施設にかかる人員費が指定管理料(物件費)に含まれているためです。また、利用料金は指定管理者の収入とする利用料金制を採用しているため、2施設の利用料収入は市の歳入とはなりません。そのため、事業の財源内訳の使用料及び手数料の割合が1.0%と低くなっています。有形固定資産74億円のうち、建物及び工作物が55億円と全体の74.3%を占めており、施設中心の歳出目であることがわかります。

②財務分析を踏まえた事業の課題

55億円の有形固定資産を有し、所管施設全体の資産老朽化比率は47.7%と高い水準となっています。特に総合体育館(48.1%)及び室内プール(46.1%)は、築造から20年以上が経過し、今後、施設の維持管理が重要な課題となります。また、市負担額が行政費用の98.0%を占めています。今後、施設整備等の事業を進めていくにあたり、国や東京都の補助金を活用し市負担額を抑えることが求められます。更に、利用料金が指定管理者の収入となる利用料金制度を採用しているため、収支管理のモニタリング等により指定管理料が適正かどうか管理していく必要があります。

**特定事業別財務諸表**

部局名	文化スポーツ振興部
-----	-----------

主管課名	スポーツ振興課	歳出目名	スポーツ振興費	事業名	体育館事業
				事業類型	1 施設運営受益者負担型

事業目的	町田市立総合体育館の施設と、附属設備の維持管理を適切に行います。 市民が気軽にスポーツ(する)を楽しむ場所を提供します。
------	---

**I. 事業の成果**

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
総合体育館利用者数	人	391,604	437,450	438,000	438,000	総合体育館の利用者数。一般利用者のほか各種大会等の開催に伴う大会参加者、指定管理者が実施する自主事業のイベント参加者が含まれています。
定性的な成果	◆こどもの日及び体育の日に、新規スポーツイベントを開催しました。					

**II. 財務情報**

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		5,022	5,022
行政収入 小計(a)		5,022	5,022
行政費用			
人件費		4,421	4,421
物件費		249,054	249,054
うち委託料		248,579	248,579
維持補修費		43,052	43,052
扶助費		0	0
補助費等		10	10
繰出金		0	0
減価償却費		157,008	157,008
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		159	159
退職手当引当金繰入額		555	555
その他		0	0
行政費用 小計(b)		454,259	454,259
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 449,237	△ 449,237
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		107	107
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		△ 107	△ 107
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 449,344	△ 449,344
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別費用			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別費用 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 449,344	△ 449,344

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	行政収入(その他)
決算額の主な内訳	物品の購入に伴うスポーツ振興くじ助成金収入 5,022千円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	指定管理委託料 248,150千円など

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	総合体育館外溝等改修工事 6,015千円 総合体育館ハロン消火設備交換修繕 6,090千円 総合体育館外灯交換新設工事 4,494千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	資産の増額要因として、トイレ他改修工事 14,250千円を行いました。減額の要因としては、建物及び重要物品の減価償却によるものです。

勘定科目	重要物品
増減理由	新体操マット4,935千円の購入による増加

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
総合体育館利用者1人あたりのコスト	人	2012	437,450	1,038	総合体育館利用者1人あたり1,038円のコストがかかっています。ただし、利用者数には、各種大会等の開催に伴う大会参加者、指定管理者が実施する自主事業のイベント参加者が含まれています。
総合体育館の1日あたりのコスト	日	2012	335	1,355,997	総合体育館を開館すると1日あたり1,355,997円のコストがかかっています。
		2012			

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	140	159	19
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	140	159	19
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	26,797	26,868	71
事業用資産	有形固定資産	4,677,109	4,535,497	△ 141,612	地方債	23,000	23,000	0
	土地	764,504	764,504	0	退職手当引当金	3,797	3,868	71
	建物	3,912,605	3,770,993	△ 141,612	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
固定資産	有形固定資産	0	0	0	負債の部合計	26,937	27,027	90
	土地	0	0	0	純資産	4,653,382	4,515,470	△ 137,912
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
	重要物品	3,210	7,000	3,790				
	図書	0	0	0				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	4,653,382	4,515,470	△ 137,912
	資産の部合計	4,680,319	4,542,497	△ 137,822	負債及び純資産の部合計	4,680,319	4,542,497	△ 137,822

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合

▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	0.045	0.0	0.15	0.0	0.0	0.0
総合体育館管理事務	0.045	0	0.15	0	0	0
内訳						

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	町田市立総合体育館
建設年月日	1990年9月1日
取得価額	7,199,973,609円
減価償却累計額	3,428,980,568円
利用者数	437,450人
利用料金収入	56,047,696円

受益者負担の割合	12.6%
----------	-------

利用料金収入に駐車場料金は含まれていない。  
駐車場料金を含んだ場合の受益者負担の割合は19.8%となります。

▽利用料金収入と利用状況の推移

単位:千円

V.総括

①財務分析

町田市立総合体育館は、指定管理者制度を導入しており、施設運営の人員費は指定管理料に含まれています。そのため、行政費用のうち人員費の割合が極端に少なく、物件費の割合が多くなる特徴があります。また、利用料金が指定管理者の収入になる利用料金制度を採用しているため、利用料金収入が市の歳入に計上されないことも特徴です。また、有形固定資産45億円のうち、建物資産37億円を有する施設中心の事業であり、減価償却費の割合が大きくなっています。

指定管理者から提出された2012年度の事業報告書によると、利用料金収入が約2,500千円減となっています。これは、施設開放やトレーニングルーム等を利用する個人利用の収入が減ったためです。それに対し、施設利用人数が約45000人増えています。これは、2010年度末に発生した震災の影響やメインアリーナの改修工事により2011年度の利用者が少なかったこと、指定管理者の自主事業(事業の一部は市からの委託)を新規に行ったこと、大会参加者が多くなったことが考えられます。

②財務分析を踏まえた事業の課題

建物資産の老朽化比率が48.1%と高い水準となっています。現在、施設では雨漏りが発生している等維持管理の対応に苦慮していますが、これから更に維持管理経費の増加が見込まれます。今後、施設の長寿命化を図るための検討を具体的に行っていく必要があります。また、建替更新を行う際には、民間の類似サービス施設との差別化や施設のあり方を検討する必要があります。

また、利用料金が指定管理者の収入となる利用料金制度を採用しているため、指定管理者の収支管理のモニタリングを行い、指定管理料が適正かどうか管理していく必要があります。

受益者負担の割合が現在12.6%となっており、当施設の受益者負担について分析を行っていく必要があります。

**特定事業別財務諸表**

部局名	文化スポーツ振興部
-----	-----------

主管課名	スポーツ振興課	歳出目名	スポーツ振興費	事業名	室内プール事業
				事業類型	1 施設運営受益者負担型

事業目的	町田市立室内プール施設と、付属設備の維持管理を適切に行います。 市民が気軽にスポーツ(する)を楽しむ場を提供します。
------	---

**I. 事業の成果**

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
室内プール利用者数	人	263,593	246,833	250,000	250,000	室内プールの利用者数。一般利用者のほか水泳大会開催に伴う大会参加者、指定管理者が実施する自主事業のイベント参加者が含まれています。
定性的な成果	◆2012年度の春と秋にプール祭りを実施し、各4000人を上回る来場者がありました。					

**II. 財務情報**

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		0	0
行政収入 小計(a)		0	0
行政費用			
人件費		3,912	3,912
物件費		194,719	194,719
うち委託料		181,273	181,273
維持補修費		16,983	16,983
扶助費		0	0
補助費等		0	0
繰出金		0	0
減価償却費		60,131	60,131
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		152	152
退職手当引当金繰入額		2,102	2,102
その他		0	0
行政費用 小計(b)		277,999	277,999
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 277,999	△ 277,999
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 277,999	△ 277,999
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別費用			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別費用 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 277,999	△ 277,999

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	指定管理料181,273千円、駐車場用地借上料11,065千円 など

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	室内プール真空・給水ポンプ更新工事 3,750千円 室内プール高圧受電用区分開閉器更新工事 1,347千円 など

勘定科目	
決算額の主な内訳	

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	室内プールの建物の減価償却に伴う減額 60,131千円

勘定科目	
増減理由	

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
室内プール利用者1人あたりのコスト	人	2012	246,833	1,126	室内プール利用者1人あたり1,126円のコストがかかっています。ただし、利用者数に水泳大会の開催に伴う大会参加者、指定管理者が実施する自主事業のイベント参加者が含まれています。
室内プールの1日あたりのコスト	日	2012	327	850,150	室内プールを開館すると1日あたり850,150円のコストがかかっています。
		2012			



◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	68	152	84
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	68	152	84
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	1,830	3,699	1,869
事業用資産	有形固定資産	1,884,741	1,824,610	△ 60,131	地方債	0	0	0
	土地	201,069	201,069	0	退職手当引当金	1,830	3,699	1,869
	建物	1,683,672	1,623,541	△ 60,131	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	1,898	3,851	1,953
	有形固定資産	0	0	0	純資産	1,882,843	1,820,759	△ 62,084
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	0	0	0	純資産の部合計	1,882,843	1,820,759	△ 62,084
	図書	0	0	0	負債及び純資産の部合計	1,884,741	1,824,610	△ 60,131
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	資産の部合計	1,884,741	1,824,610	△ 60,131				

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合

性質	割合
物件費	70.0%
減価償却費	21.6%
維持補修費	6.1%
その他	0.8%
人件費	1.4%

▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	0.043	0.0	0.05	0.0	0.0	0.0
室内プール管理事務	0.043	0	0.05	0	0	0

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	町田市立室内プール
建設年月日	1989年10月2日
取得価額	3,006,556,680円
減価償却累計額	1,383,016,060円
利用者数	246,833人
利用料金収入	43,088,350円

受益者負担の割合	17.7%
----------	-------

利用料金収入に駐車場料金は含まれていない。  
駐車場料金を含んだ場合の受益者負担の割合は23.7%となります。

▽利用料金収入と利用状況の推移

単位:千円

年度	利用料金収入 (千円)	利用者数 (人)
2009年度	50,000	270,000
2010年度	48,000	265,000
2011年度	47,000	265,000
2012年度	43,088	246,833

V.総括

①財務分析

町田市立室内プールは、指定管理者制度を導入しており、施設運営の人件費は指定管理料に含まれています。そのため、行政費用のうち人件費の割合が極端に少なく、物件費の割合が多くなる特徴があります。また、利用料金が指定管理者の収入になる利用料金制度を採用しているため、利用料金収入が市の歳入に計上されないことも特徴です。また、有形固定資産18億円のうち、建物資産16億円を有する施設中心の事業であり、減価償却費の割合が大きくなっています。

行政費用のうち物件費が70%を超えていますが、これは指定管理料のほか駐車場の賃貸借契約が影響しています。

指定管理者から提出された2012年度の事業報告書によると、利用料金収入が約4,000千円減、利用者数が約16,000人減となっています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

建物資産の老朽化比率が46.1%と高い水準となっています。現在、施設では雨漏りや結露による腐食が発生しており維持管理の対応に苦慮していますが、これから更に維持管理経費の増加が見込まれます。今後、施設の長寿命化を図るための検討を具体的に行っていく必要があります。また、建替更新を行う際には、民間の類似サービス施設との差別化や施設のあり方を検討する必要があります。

また、利用料金については指定管理者の収支管理のモニタリングを行い、指定管理料が適正かどうか管理していく必要があります。利用者数及び利用料金が前年度比で減っていることについて、2012年度から実施した駐車場の有料化が少なからず影響していると思われるのですが、2013年度の実績に注視していく必要があります。

受益者負担の割合が現在17.7%となっており、当施設の受益者負担について分析を行っていく必要があります。

**特定事業別財務諸表**

部局名	文化スポーツ振興部
-----	-----------

主管課名	スポーツ振興課	歳出目名	スポーツ振興費	事業名	球場・コート事業
				事業類型	1 施設運営受益者負担型

事業目的	成瀬クリーンセンターテニスコート、三輪みどり山球場施設及び附属設備の維持管理を適正に行います。 市民が気軽にスポーツ(する)を楽しむ場を提供します。
------	---

**I. 事業の成果**

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
成瀬クリーンセンターテニスコート利用者数	人	83,547	90,295	92,000	92,000	成瀬クリーンセンターテニスコートの利用者数。一般利用者のほかテニス大会開催に伴う大会参加者、指定管理者が実施する自主事業のイベント参加者が含まれています。
三輪みどり山球場利用者数	人	15,482	17,593	18,000	18,000	三輪みどり山球場の利用者数。一般利用者のほか野球大会開催に伴う大会参加者、指定管理者が実施する自主事業のイベント参加者が含まれています。
定性的な成果	◆成瀬クリーンセンターテニスコートにおいて、こどもの日及び体育の日に新規スポーツイベントを開催しました。					

**II. 財務情報**

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		0	0
行政収入 小計(a)		0	0
行政費用			
人件費		1,134	1,134
物件費		10,076	10,076
うち委託料		10,051	10,051
維持補修費		2,728	2,728
扶助費		0	0
補助費等		0	0
繰出金		0	0
減価償却費		6,066	6,066
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		39	39
退職手当引当金繰入額		178	178
その他		0	0
行政費用 小計(b)		20,221	20,221
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 20,221	△ 20,221
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		1,322	1,322
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		△ 1,322	△ 1,322
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 21,543	△ 21,543
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別支出			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 21,543	△ 21,543

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	指定管理料10,051千円など

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	成瀬クリーンセンターテニスコート及び三輪みどり山球場の維持管理に関する経費 成瀬クリーンセンターテニスコートハードコート補修修繕 など

勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	成瀬クリーンセンターのクラブハウス及び三輪みどり山球場の管理棟(建物)及び成瀬クリーンセンターテニスコートの照明、人工芝(工作物)にかかる減価償却費

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	成瀬クリーンセンターのクラブハウス及び三輪みどり山球場の管理棟の減価償却に伴う減少

勘定科目	工作物
増減理由	成瀬クリーンセンターテニスコートの照明、人工芝の減価償却に伴う減少

勘定科目	地方債
増減理由	元金償還による減少 10,906千円

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
利用者1人あたりのコスト	人	2012	107,888	187	利用者1人あたり187円のコストがかかっています。ただし、利用者数にテニスや野球大会開催に伴う大会参加者、指定管理者が実施する自主事業のイベント参加者が含まれています。
		2012			
		2012			

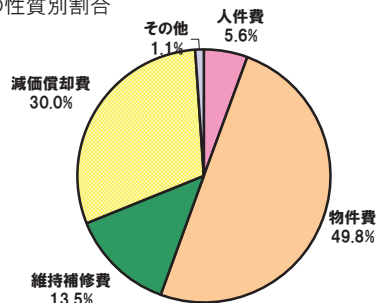
◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	10,940	11,165	225
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	10,907	11,126	219
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	33	39	6
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	58,803	47,740	△ 11,063
事業用資産	有形固定資産	84,468	78,402	△ 6,066	地方債	57,911	46,786	△ 11,125
	土地	0	0	0	退職手当引当金	892	954	62
	建物	46,514	44,665	△ 1,849	その他	0	0	0
	工作物	37,954	33,737	△ 4,217	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
固定資産	有形固定資産	0	0	0	負債の部合計	69,743	58,905	△ 10,838
	土地	0	0	0	純資産	14,725	19,497	4,772
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
	重要物品	0	0	0				
	図書	0	0	0				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	14,725	19,497	4,772
	資産の部合計	84,468	78,402	△ 6,066	負債及び純資産の部合計	84,468	78,402	△ 6,066

III.財務構造分析

▽行政費用の性別割合



▽事業に関わる人員

(単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	0.011	0.0	0.05	0.0	0.0	0.0
球場・コート管理事務	0.011	0	0.05	0	0	0
内訳						

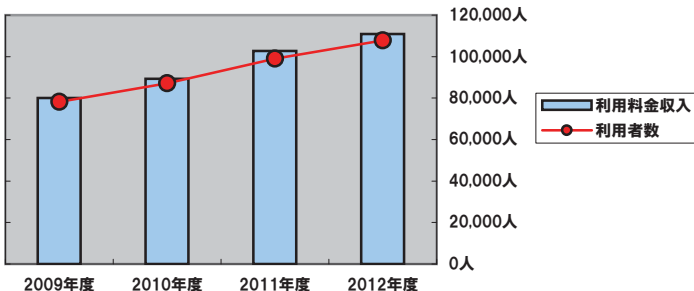
IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	町田下水処理場テニスコート・三輪みどり山球場
建設年月日	1997年12月10日・1988年4月23日
取得価額	70,230,450円
減価償却累計額	25,565,256円
利用者数	107,888人
利用料金収入	27,718,040円
受益者負担の割合	106.5%

▽利用料金収入と利用状況の推移

単位:千円



V.総括

①財務分析

成瀬クリーンセンターテニスコート及び三輪みどり山球場は、指定管理者制度を導入しており、施設運営の人員費は指定管理料に含まれています。そのため、行政費用のうち人件費の割合が極端に少なく、物件費の割合が多くなる特徴があります。また、利用料金が指定管理者の収入になる利用料金制度を採用しているため、利用料金収入が市の歳入に計上されないことも特徴です。

また、利用者数及び利用料金収入は年々増加しています。受益者負担の割合は106.5%となっています。これは、成瀬クリーンセンターテニスコートにおいて、施設利用料収入が施設の管理運営費を上回っているため、指定管理者が数多くの事業を展開し集客を図っていること、施設が建物の屋上に設置されており維持管理に大きなコストがかからないことが要因となっています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

建物と工作物の老朽化率は、30.2%とそれほど高いものではありませんが、現在テニスコートの一部にひび割れ等が発生し、都度対応している状況で、プレーに支障があるとの意見を多数いただきます。将来的にはコート全面の張り替えが必要になります。

利用料金が指定管理者の収入となる利用料金制度を採用しています。あわせて、受益者負担の割合が100%を越えている現状も鑑み、モニタリング等により適正に管理していく必要があります。

**特定事業別財務諸表**

部局名	文化スポーツ振興部
-----	-----------

主管課名	スポーツ振興課	歳出目名	スポーツ振興費	事業名	スポーツ広場事業
				事業類型	2 施設運営型

事業目的	地域住民のスポーツ振興及び健康増進のため、町内会・自治会、スポーツ団体等が未使用の市有地又は民有地等をスポーツ広場として暫定利用する際に、市が必要な支援を行うものです。
------	--

**I. 事業の成果**

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
スポーツ広場利用者数	人	401,146	419,064	398,964	395,000	スポーツ広場30箇所の利用者数
スポーツ広場数	箇所	30	30	30	29	市内のスポーツ広場箇所数
定性的な成果	◆スポーツ広場の利用形態が多様化しており利用者が増加する傾向にあります。					

**II. 財務情報**

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		0	0
行政収入 小計(a)		0	0
行政費用			
人件費		12,488	12,488
物件費		12,138	12,138
うち委託料		6,768	6,768
維持補修費		5,322	5,322
扶助費		0	0
補助費等		366	366
繰出金		0	0
減価償却費		1,516	1,516
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		452	452
退職手当引当金繰入額		3,633	3,633
その他		0	0
行政費用 小計(b)		35,915	35,915
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 35,915	△ 35,915
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 35,915	△ 35,915
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別費用			
固定資産売却・除却損		28	28
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別費用 小計 (i)		28	28
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		△ 28	△ 28
当期収支差額 (g)+(j)		△ 35,943	△ 35,943

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	スポーツ広場事業に伴う、草刈や樹木の伐採に関する経費 3,568千円、原材料費 3,148千円、光熱水費や消耗品費 1,823千円 など

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	スポーツ広場30箇所の維持管理に関する経費 三輪緑山スポーツ広場給水管布設替修繕 1,300千円 など

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	施設賠償責任保険料 366千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	建物(トイレや倉庫)を設置している7箇所のスポーツ広場の減価償却に伴う減少

勘定科目	
増減理由	

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
スポーツ広場利用者1人あたりのコスト	人	2012	419,064	86	スポーツ広場利用者1人あたり86円のコストがかかっています。
スポーツ広場数1箇所あたりのコスト	箇所	2012	30	1,197,167	スポーツ広場1箇所あたり1,197,167円のコストがかかっています。
		2012			

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	311	452	141
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	311	452	141
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	8,417	10,973	2,556
事業用資産	有形固定資産	973,507	971,964	△ 1,543	地方債	0	0	0
	土地	947,912	947,912	0	退職手当引当金	8,417	10,973	2,556
	建物	25,595	24,052	△ 1,543	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	8,728	11,425	2,697
固定資産	有形固定資産	0	0	0	純資産	964,779	960,539	△ 4,240
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
	重要物品	0	0	0				
	図書	0	0	0				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	964,779	960,539	△ 4,240
資産の部合計	973,507	971,964	△ 1,543	負債及び純資産の部合計	973,507	971,964	△ 1,543	

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合

項目	割合
人件費	34.8%
物件費	33.8%
維持補修費	14.8%
その他	11.4%
減価償却費補助費等	1.0%

▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	0.128	0.0	0.41	0.0	0.0	0.0
スポーツ広場管理事務	0.128	0.0	0.41	0.0	0.0	0.0
内訳						

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	市内スポーツ広場 30箇所
建設年月日	
取得価額	36,424,900円
減価償却累計額	12,373,283円
利用者数	419,064人

市内のスポーツ広場数 30箇所  
市所管の建物(トイレや倉庫)のあるスポーツ広場 7箇所  
利用者数は30箇所の合計数

▽利用状況の推移

年度	利用者数
2009年度	380,000人
2010年度	350,000人
2011年度	400,000人
2012年度	420,000人

V.総括

①財務分析

スポーツ広場の一人あたりのコストは86円ですが、1箇所あたりのコストは1,197,167円のコストがかかっています。実際にはほとんど経費のかからない広場もあることから、経費のかかる広場とかからない広場の差があります。なお、物件費と維持補修費を合わせると全体の48.6%を占め、施設管理が主たる事業です。  
建物はスポーツ広場7箇所に設置した、公共トイレ5箇所と倉庫2箇所になります。施設の老朽化率は全施設平均で33.9%となります。スポーツ広場の利用者数は年々増加の傾向にあります。

②財務分析を踏まえた事業の課題

スポーツ広場1箇所あたりのコストが1,000千円を超えていること、経費のかかる広場とそうでない広場とあることについて分析と検討が必要です。  
維持管理コストの主なもの、草刈や原材料費、光熱水費の物件費が年間に約8,500千円、修繕等の維持管理経費が5,322千円のコストがかかっています。施設の平等利用や公有財産を利用した施設であれば受益者負担について検討していく必要があります。

**特定事業別財務諸表**

部局名	文化スポーツ振興部
-----	-----------

主管課名	スポーツ振興課	歳出目名	スポーツ振興費	事業名	学校施設開放事業
				事業類型	1 施設運営受益者負担型

事業目的	市立小中学校の校庭、体育館、夏季プール、木曽中学校夜間照明設備、中学校温水プール(町田第一中学校、南中学校、鶴川中学校)を夜間や休日等学校教育で使用していない時間を市民に開放することで、有効活用し、社会体育を推進します。
------	--

**I. 事業の成果**

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
学校プール利用者数 ①夏季開放プール ②中学校温水プール	人	①24,394 ②39,852	①34,177 ②46,393	①34,000 ②46,500	①32,000 ②48,000	学校プールの利用者数
学校開放利用者数 ①小中学校校庭・体育館 ②木曽中学校夜間照明設備	人	①483,972 ②8,947	①490,354 ②10,372	①450,000 ②10,000	①500,000 ②10,000	学校開放の利用者数
定性的な成果						

**II. 財務情報**

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		10,251	10,251
繰入金		0	0
その他		227	227
行政収入 小計(a)		10,478	10,478
行政費用			
人件費		11,423	11,423
物件費		66,145	66,145
うち委託料		63,797	63,797
維持補修費		967	967
扶助費		0	0
補助費等		831	831
繰出金		0	0
減価償却費		206	206
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		438	438
退職手当引当金繰入額		3,574	3,574
その他		0	0
行政費用 小計(b)		83,584	83,584
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 73,106	△ 73,106
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 73,106	△ 73,106
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別費用			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別費用 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 73,106	△ 73,106

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	中学校温水プール及び木曽中学校夜間照明設備の使用料収入 10,251千円

勘定科目	行政収入 その他
決算額の主な内訳	プール施設の相互利用にかかる精算金 227千円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	中学校温水プール関連委託料 56,232千円、学校プール開放委託料 6,396千円 など

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	木曽中学校校庭の管理棟の減価償却に伴う減少

勘定科目	
増減理由	

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

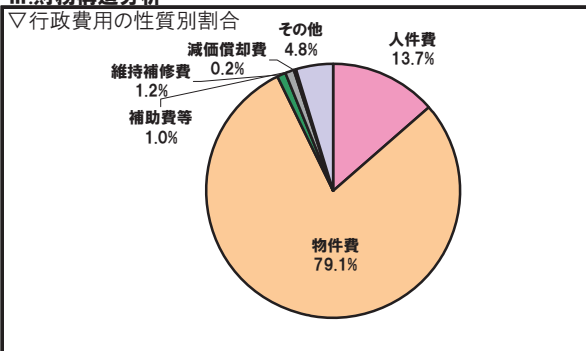
指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
利用者1人あたりのコスト	人	2012	581,296	144	学校施設開放事業1人あたり144円のコストがかかっています。ただし、学校の施設を利用しているため光熱水費は教育委員会が負担しています。
開所1回あたりのコスト	回	2012	16,827	4,967	学校施設開放事業の開所1回あたり4,967円かかっています。ただし、学校の施設を利用しているため光熱水費は教育委員会が負担しています。 (内訳 温水プール892回、木曽中学校270回、プール開放350回、校庭・体育館開放15315回)
	人	2012			

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	299	438	139
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	299	438	139
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	8,077	10,620	2,543
事業用資産	有形固定資産	1,648	1,442	△ 206	地方債	0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金	8,077	10,620	2,543
	建物	1,648	1,442	△ 206	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
固定資産	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0	負債の部合計	8,376	11,058	2,682
	土地	0	0	0	純資産	△ 6,728	△ 9,616	△ 2,888
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
	重要物品	0	0	0				
	図書	0	0	0				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	△ 6,728	△ 9,616	△ 2,888
	資産の部合計	1,648	1,442	△ 206	負債及び純資産の部合計	1,648	1,442	△ 206

III.財務構造分析



▽事業に関わる人員 (単位:人)

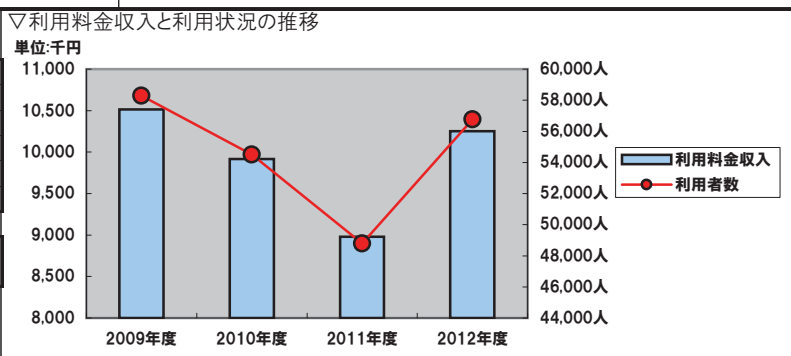
業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	0.123	0.0	0.2	0.0	0.0	0.041
学校施設開放管理事務	0.123	0	0.2	0	0	0.041
内訳						

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	木曾中学校校庭 管理棟
建設年月日	1995年9月26日
取得価額	4,944,000円
減価償却累計額	3,502,000円
利用者数	10,372人
利用料金収入	10,250,900円
受益者負担の割合	12.3%

上記は木曾中学校と学校温水プールを合わせたものの木曾中学校の受益者負担割合は28.7% (人件費除) 学校温水プールの受益者負担割合は16.7%(人件費除)



※上記は木曾中学校と学校温水プールを合わせた推移です

V.総括

①財務分析

行政費用のうち物件費が79%を占めています。また、中学校温水プール3施設の管理委託とプールレッスンの事業委託、学校開放プール管理委託料が物件費の主なもので94%を占めています。木曾中学校の夜間照明設備の事業についても、当事業費の61%は夜間照明設備受付及び管理委託であり、事業全体として施設管理業務を行う事業であることがわかります。また、有形固定資産は木曾中学校校庭の管理棟で、施設の老朽化率は70.8%となっています。

1人あたり及び開所1回あたりのコストについては、学校施設開放事業全体の利用者によるものであること、光熱水費は教育委員会が負担していることから参考値になります。

2011年度の利用者と収入の減は震災が影響しています。受益者負担の割合は2施設合計で12.3%となっています。木曾中学校とプールに分けると28.7%と16.7%となりますがこれには人件費は含まれません。

②財務分析を踏まえた事業の課題

物件費が約80%を占めています。委託料を抑えることができればコストの削減につながりますが、サービスの低下にならないように注意する必要があります。特にプール事業は人命がかかわる事業ですので慎重に行う必要があります。

また、利用者数を増やすことができれば、1人あたりのコストを抑えることができます。プールにおいては集客を集められる事業の展開を考えていくことが必要です。

歳出目別財務諸表

部局名	文化スポーツ振興部	主管課名	国体推進課	歳出目名	国体開催費
				事業類型	c その他

組織のミッション	国体に参加する人、見る人、支える人が楽しさ、達成感、誇り、郷土愛を感じられるような大会にします。スポーツ、産業・文化・環境活動等を通し、町田のイメージアップと知名度の向上を図ります。また、国体終了後にも継続できるような市民運動や環境の整備を行います。
事業概要	・スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会)開催準備に関することです。 ・スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会)競技会を開催し、「スポーツのまち町田」を広くアピールします。また、開催準備、運営に際し市民との協同事業を行い、地域活性化を図ります。

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
東京国体観戦者数、関連イベント参加者数	人	107,256	265,227	108,400	-	年度ごとの観戦者数、関連イベント参加者数の延べ人数
東京国体ボランティアスタッフ登録者数	人	0	405	845	-	年度ごとのボランティアスタッフ登録者数延べ人数
定性的な成果		◆観戦者の動員方法及び市職員、ボランティア(まちだサポーターズ)等の活動状況を検証するため、3競技のリハーサル大会を実施しました。 ◆市民等が国体の開催に対して関心を持つことができるよう、都の補助制度も活用して、気運の醸成を図るための様々な事業を展開し、多くの方々の参加を得ることができました。				

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		45,944	45,944
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		4,981	4,981
行政収入 小計(a)		50,925	50,925
人件費		121,741	121,741
うち時間外勤務手当		12,815	12,815
物件費		19,307	19,307
うち委託料		13,812	13,812
維持補修費		105	105
扶助費		0	0
補助費等		60,675	60,675
繰出金		0	0
減価償却費		0	0
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		3,937	3,937
退職手当引当金繰入額		2,275	2,275
その他		0	0
行政費用 小計(b)		208,040	208,040
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 157,115	△ 157,115
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 157,115	△ 157,115
特別収入		0	0
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別支出		0	0
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 157,115	△ 157,115

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	緊急雇用創出事業費臨時特別補助13,755千円。国民体育大会競技普及啓発費補助2,000千円。国民体育大会リハーサル大会運営費補助8,591千円。国民体育大会気運醸成・開催記念事業費補助21,598千円。

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	物件費(その他物件費):出張旅費204千円。岐阜国体、説明会、冬季国体視察等3,116千円。物件費(需用費):電話料金448千円など。物件費(委託料):スポーツ祭東京2013開催準備支援業務委託13,755千円など。

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	スポーツ祭東京2013町田市実行委員会負担金60,665千円など。

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	賞与引当金
増減理由	従事人員の変動による。

勘定科目	退職手当引当金
増減理由	従事人員の変動による。

勘定科目	
増減理由	



◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	3,835	3,937	102	
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0	
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	3,835	3,937	102	
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0	
	その他	0	0	0	固定負債	103,772	95,550	△ 8,222	
事業用資産	有形固定資産	0	0	0	地方債	0	0	0	
	土地	0	0	0	退職手当引当金	103,772	95,550	△ 8,222	
	建物	0	0	0	その他	0	0	0	
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	107,607	99,487	△ 8,120	
	有形固定資産	0	0	0	純資産	△ 107,607	△ 99,487	8,120	
	土地	0	0	0					
	工作物	0	0	0					
	無形固定資産	0	0	0					
固定資産	重要物品	0	0	0	純資産の部合計	△ 107,607	△ 99,487	8,120	
	図書	0	0	0	負債及び純資産の部合計	0	0	0	
	建設仮勘定	0	0	0					
	投資その他の資産	0	0	0					
	有価証券及出資金	0	0	0					
	特定目的基金	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	資産の部合計	0	0	0					

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	50,926	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	216,159	社会資本整備等投資活動支出	0	財務活動支出	0
行政サービス活動収支差額(a)	△ 165,233	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	0	財務活動収支差額(c)	0
			収支差額 合計 (a)+(b)+(c)		
			一般財源充当調整額		
			165,233		

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合

▽事業の財源内訳

▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
歳出目 合計	13	1	2	0	1.8	0.4
総務事務	5.2	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2
広報啓発、事業事務	3.4	0.8	0.0	0.0	0.8	0.1
競技事務	2.8	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0
宿泊衛生、輸送交通事務	0.5	0.0	0.9	0.0	0.1	0.0
リハーサル大会事務	1.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1

IV.個別分析

人 国体観戦者数、イベント参加者数

人 ボランティアスタッフ登録者数

V.総括

①財務分析

国体開催費は、人件費が約6割を占めており、次いで、スポーツ祭東京2013開催のために、実行委員会として市から負担金の交付を受けていることから、約3割が補助費等となっています。  
 財源は、市負担が約7割を超えており、約2割(約46,000千円)を都支出金で賄っております。  
 ボランティア登録者数及び国体観戦者、イベント参加者数ともに増加傾向にあります。

②財務分析を踏まえた事業の課題

- ・当事業は、国体開催時の運営を安全かつ円滑に進めること、来訪者へのおもてなしや町田の魅力を発信することが最大の使命となるため、そのための様々な取り組みに対して、効果的に経費を執行していく必要があります。
- ・事業の執行に際しては、都の補助金等、特定財源を得て、有効に活用していく必要があります。

歳出目別財務諸表

部局名	文化スポーツ振興部	主管課名	国際版画美術館	歳出目名	国際版画美術館費
				事業類型	d 事業的(特定事業類型1)

組織のミッション	優れた美術作品に触れる機会、および学習、創作、発表を通して美術に親しむ機会と環境を効果的に提供し、市民をはじめすべての来館者に喜び、感動、やすらぎを与えます。また、貴重な文化財である版画作品を収集・保管し、市民の財産として未来に伝えるとともに、広く社会に、版画文化に関する専門性に裏付けられた良質な情報発信を行います。これにより、町田市の文化振興および文化・芸術都市としてのブランドイメージ向上に寄与します。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企画展示室では豊富な収蔵品を生かしつつ、他の機関からの借用品も含め、春秋の特別企画を中心に自主企画展を行います。常設展示室では収蔵品によるミニ企画展を年間4回行います。貴重な文化財であり市民の財産である収蔵品の有効利用につとめています。また、展覧会に関連したギャラリートーク、講演会、体験イベントなどを開催しています。</li> <li>○国際版画美術館HPを中心にして、美術館事業の積極的な情報発信を行っています。</li> <li>○版画の実技を体験できる版画工房を美術館内で管理運営しています。一般利用者へ版画を制作する場所を提供し、実技講座や公開制作も行っていきます。</li> <li>○国際版画美術館の施設運営管理及び施設貸出を行っています。</li> </ul>

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
国際版画美術館 展覧会観覧者数	人	91,659	112,442	92,000	92,000	年間8本の企画展示室での特別企画展と年間4本の常設展示室でのミニ企画展の入場者数を合計したものです。
定性的な成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆開館25周年にあわせ、春秋の大型企画展覧会と6本の企画展覧会のほか、講演会や版画の折り体験、工房利用者による展覧会、プロムナードコンサート等、数々の事業を実施して、多数のお客様に楽しんでいただくことができました。</li> <li>◆開館25周年事業についての、プロモーション活動をあらゆる場面で実施しました。小田急電鉄株式会社の協力による交通広告の掲出をはじめ、美術館HP上に25周年特設ページを掲載し、事業の宣伝を行いました。また、開館25周年を記念した「2525(にごにご)キャンペーン」を中心にして、積極的にPR活動を展開したことが集客につながりました。</li> <li>◆「2525(にごにご)キャンペーン」では、各企画展25名様へのオリジナル版画のプレゼントと、アンケートに答えていただいたお客様全員にオリジナルしおりをプレゼントしました。秋の「北斎と広重」展では、アンケートの抽出件数が2,990名となり、今後の事業計画に参考となる貴重な資料を得ることができました。</li> </ul>				

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		10,730	10,730
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		20,308	20,308
繰入金		0	0
その他		20,261	20,261
行政収入 小計(a)		51,299	51,299
行政費用			
人件費		113,222	113,222
うち時間外勤務手当		2,860	2,860
物件費		159,069	159,069
うち委託料		111,931	111,931
維持補修費		21,754	21,754
扶助費		0	0
補助費等		7,243	7,243
繰出金		0	0
減価償却費		38,547	38,547
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		4,828	4,828
退職手当引当金繰入額		4,037	4,037
その他		0	0
行政費用 小計(b)		348,700	348,700
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 297,401	△ 297,401
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 297,401	△ 297,401
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別支出			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 297,401	△ 297,401

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
国際版画美術館 年間入館者数1人 あたりコスト	人	2012	184,707	1,888	利用者1人あたり1,888円のコストがかかっています。
開館日数あたりの コスト	日	2012	306	1,139,542	1日あたり1,139,542円のコストがかかっています。
床面積あたりの コスト	㎡	2012	7840.2	44,476	1㎡あたり44,476円のコストがかかっています。

◆行政コスト計算書の特記事項

勘定科目	使用料及び手数料
決算額の 主な内訳	主として企画展観覧料15,524千円。その他、施設使用料4,775千円。

勘定科目	物件費
決算額の 主な内訳	町田市立国際版画美術館総合管理委託 62,041千円、「版画の冒険」展海外作品借用業務委託 6,300千円など。

勘定科目	
決算額の 主な内訳	

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	減価償却による減少38,547千円。

勘定科目	
増減理由	

勘定科目	
増減理由	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	4,640	4,828	188
	未収金	50	0	△ 50	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	4,640	4,828	188
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	125,547	117,193	△ 8,354
事業用資産	有形固定資産	1,226,681	1,188,134	△ 38,547	地方債	0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金	125,547	117,193	△ 8,354
	建物	963,669	925,122	△ 38,547	その他	0	0	0
	工作物	263,012	263,012	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	130,187	122,021	△ 8,166
固定資産	有形固定資産	0	0	0	純資産	2,492,936	2,462,505	△ 30,431
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
	重要物品	1,296,392	1,296,392	0				
	図書	0	0	0				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	100,000	100,000	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	2,492,936	2,462,505	△ 30,431
	資産の部合計	2,623,123	2,584,526	△ 38,597	負債及び純資産の部合計	2,623,123	2,584,526	△ 38,597

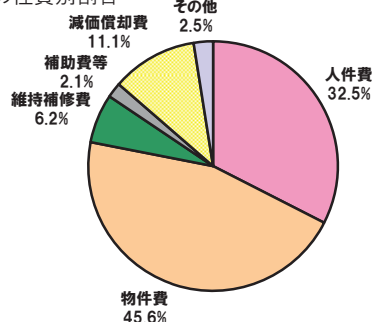
◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	51,349	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	318,319	社会資本整備等投資活動支出	0	財務活動支出	0
行政サービス活動収支差額(a)	△ 266,970	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	0	財務活動収支差額(c)	0
			収支差額 合計 (a)+(b)+(c)		
			一般財源充当調整額		
			266,970		

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



▽事業に関わる人員

(単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
歳出目 合計	15	0	1	0	0	1.2
内訳						
管理事務	3.3		1.0			
展示事業	6.6				0.3	0.5
ハイビジョン事業	1.0					
普及事業	4.1					0.7

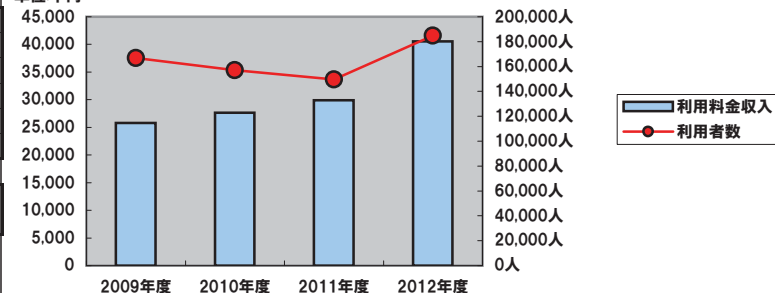
IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名	町田市立国際版画美術館
建設年月日	1986年9月1日
取得価額	1,927,337,000円
減価償却累計額	1,002,215,240円
利用者数	184,707人
利用料金収入	40,568,535円
受益者負担の割合	11.6%

▽利用料金収入と利用状況の推移

単位:千円



V.総括

①財務分析

国際版画美術館事業は、物件費が全体の45.6%を占めています。物件費の主な内容は、施設の管理運営と展覧会事業に係る支出です。施設の管理運営費用は、清掃・設備・受付・警備等の人的経費の要素が大きくなっています。人件費は全体の30.7%を占めています。2012年度は、25周年事業の開催に伴い、例年より大きい予算を確保して、事業を実施しています。その分、歳入も例年を大きく上回る額を得ることができました。受益者負担の割合は、11.6%となっています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

一般的に、美術館等の歳出に対しての歳入の割合(受益者負担割合)は、13%を超えれば優良とされている中で、受益者負担率11.6%は比較的良好な数字です。これは、投入した金額が大きかったため、返ってきた金額が大きかったということではないかと考えられることから、今後は、少ない歳出でいかに効果を上げていくかが課題となります。美術館は、開館27年目に突入しました。いまだに大規模な修繕が一度も行われていない状況です。重要備品である収蔵作品は2万4千点を数え、近々の修繕は必須となります。このため、2013年度は施設修繕の基本設計を実施します。今後は、将来の維持管理コスト負担を考慮し、施設の適正な管理運営等について検討する必要があります。